

りゅうおう

議 会 だ よ り

No.180

2017年8月1日
滋賀県竜王町議会

みなさんの善意で光る川！
竜王清流会 魚つかみ大会 関連記事P18

定例会報告

いきなりの大型補正予算 2

一般質問

コンパクトシティ化は 14

追 跡

全国学力・学習状況調査は 17

シリーズ

いきいき人生 18

大型補正予算

4億672万円の追加

定住化
促進事業、
一歩進む

特徴 小口地先の市街化区域内に先行投資としてインフラ整備を実施します。

主な質疑

問 4億円のうち、2億円が起債であるが、返済はどのように考えているか。

答 耐用年数があるので後年度にわたって納税者に負担していただく。また、企業を誘致することで新たな雇用を生み、その企業からの税収を得て賄っていく。

竜王近江牛等 特産品発信事業 (1900万円)



(竜王町町勢要覧より引用)

どのような事業を実施するの？

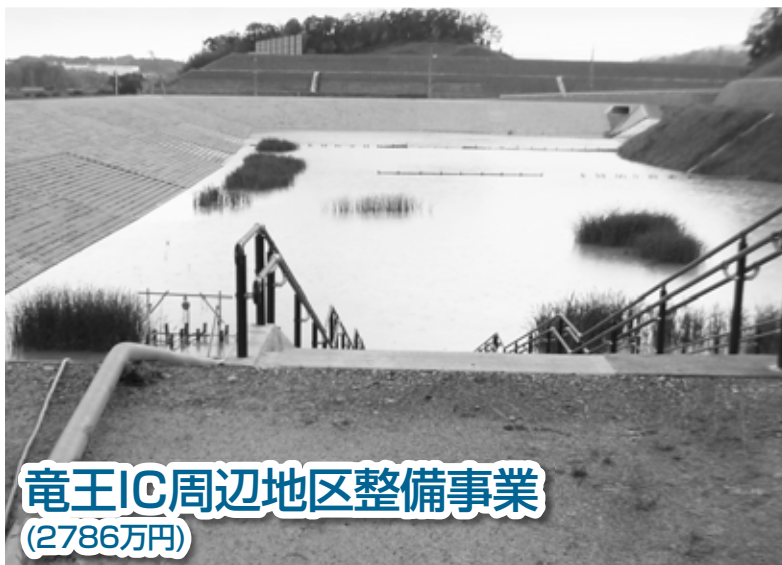
- ・滋賀県情報発信拠点「ここ滋賀」(日本橋)でPR
- ・道の駅など町内集客施設間の移動手段の検討
- ・新規就農者相談、交流会の開催
- ・インターンシップ受入れ支援など

近江牛贅沢 すきやき定食



減債基金積立金 (2億811万円)

小口町有地の売却金を今後の町政発展のための投資的な経費に使用する目的で基金へ積み立てます。



竜王IC周辺地区整備事業 (2786万円)

滋賀竜王工業団地内の調整池

新年度がスタート、いきなりの

6月定例会は17日間の会期で専決処分3議案、条例1議案、補正予算2議案、人事案件15議案、その他2議案が審議され、人事案件1議案を除き原案どおり承認・可決されました。

主な事業などは

橋梁寿命化修繕工事 (510万円)



橋梁現場視察（小口橋）

土地売払い収入 (2億3600万円)

小口地先町有地の処分
対象面積：34,139㎡



主な質疑

問 修繕の対象となる橋梁数と、修繕工事が完了した橋梁数は。

答 橋梁は5年に一度の点検を行っており、健全度は4ランクで評価している。
平成26年度に全117橋の定期点検を行い、15m以上のランク3の橋を優先的に修繕している。現時点で、13橋の修繕を実施した。

配水管布設替工事 (4530万円)



住宅施策、企業立地施策推進のための
先行投資として、配水管を布設替

工事が予定されている町道小口八重谷線

新規 町道の整備 (7338万円)



隣接する土地の有効利用と交通の利便性の向上を図るため道路を整備

小口の地先の市街化区域内での予定地

関連

新たに町道路線(小口不動尊線)を認定した。

総務産業建設常任委員会

調査

竜王町水道事業ビジョン

1.作成の背景、目的

- ・水道資産の更新時期が全国的に到来している
- ・水道管路を全て更新するには約130年かかるとされており、これらの課題を解決するため、平成28年度から37年度までの水道事業ビジョンを作成した

2.本町の水道事業における問題点

- ・独立採算制による事業の維持が困難になりつつある
- ・広域的な連携について話し合いが必要である



水道管布設替工事

安全

「安全で安心できる水道」
安心しておいしく飲める水道水の供給に努めます。

強 韌

「安定的かつ災害に強い強靱な水道」
震災などの緊急時に強い水道を目指すため、老朽施設の更新や施設を耐震化し、安定供給に努めます。

持 続

「健全な経営の水道」
水道施設の適切な保有・維持管理を行うとともに、アウトソーシングなどにより経営の効率化を進め、持続可能な経営に努めます。

サービス

「町民に信頼される水道」
情報を積極的に公開し、事業の透明性を確保するとともに、利用者の理解を深めながら施策を推進していきます。

水道事業ビジョンより

調査

災害時などの地域情報システム整備

- ・防災行政無線は60MHzに1本化する
- ・財源は緊急防災・減災事業債の活用

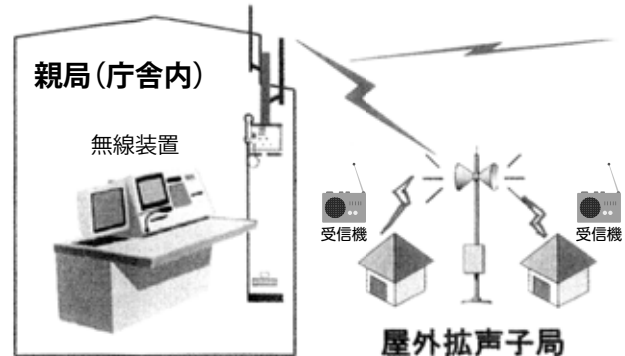
〈今後の予定〉

- ①基本設計 平成29年度（9月補正）
- ②実施設計 平成30年度（当初予算案に計上）
- ③自治会住民への周知 平成30年度後半
- ④整備工事 平成31・32年度

問 個別受信機で安否情報が確認できるか

答 システムを構築する上で費用対効果を考えながら検討していく

防災行政無線システム



同報無線により、各種の通報が迅速・正確にできます。

災 害 時

警報予報・緊急放送



避難誘導のための放送



救援・救助、復旧活動のための連絡通話

気象情報の予告放送
台風接近中

平 常 時

各種行事のお知らせ



防災・避難訓練等の放送



教育民生常任委員会

9年間を見通した教育活動!!

研修

小中一貫教育 宮島中学校(広島県)・港島学園(兵庫県)

【宮島中学校】学校教育目標 自己の未来を切り拓いていく児童、生徒の育成
(小中学校での共通の学校教育目標を設定)

●学習内容 豊富な地域資源や人材、環境を活かした生徒の学習の充実を図っている

①世界遺産・地域遺産教育
地域の伝統文化学習、宮島学習など

②環境教育
植生復元活動、宮島水族館や広島大学との連携など

③国際教育
外国人観光客との交流、宮島ボランティアガイド(英語)など



3年生が外国人観光客に自信を持ってガイドをしている

感想

英語での環境ボランティアガイドは、生徒を精神的にも成長させていると感じた

感想

宮島は、世界遺産・地域遺産、外国人観光客、環境、文化・伝統があるので、これらの資源と持続可能な開発に取り組める教育を取り入れ、総合的に考えさせる指導は素晴らしいかった

【港島学園】



外国人児童がともに学んでおり、教育現場の国際化が進んでいる

小中一貫教育の特色ある取組

①小学校高学年から中学校の部活動に参加することができる

②運動会などは、小学校と中学校で合同で取り組みを行っている

③小学校指導内容を中学校へ先送りや前倒して学習することができ、柔軟な対応ができる

小学校から中学校に進学する際に、環境の変化から見られる「中1ギャップ」は見られないようだ



教育民生常任委員会

調査

幼稚園の英語教育

- ・町内幼稚園で外国人講師を招いて英語体験活動を実施
- ・今年度からの実施で年10回を予定
- ・5歳児から実施

問 英語教育に期待する効果は

答 学びの基礎、根気強さ、注意深さを学び、小学校の英語教育の素地をつくることができる



あそびで学ぶ

調査

預かり保育

3歳児の預かり保育の実施状況

利用児童数 16人（3歳児） 3歳児の23%
※両園を合わせた数

問 クラス担任と預かり保育担当者との連携は

答 児童の様子は職員会議で情報共有している。また、午前中の様子を引継ぎして保育にあたっている



子守唄をききながらスヤスヤ

調査

公民館活動

公民館講座開設事業

ドラゴンカレッジの開催
木彫り、折り紙、ちぎり絵等

地域子ども教室推進事業

竜王キッズクラブの開催
和太鼓、書道等

学校支援地域本部

ボランティアの募集
学習支援と環境整備

講座
終了後も、
地域での展示
活動をするなど
活躍されて
います。



和太鼓のひびき(竜王キッズクラブ)

調査

図書館活動

本や図書館に親しんでもらう活動

行事開催や定期的なお話し会、出前個人貸し出し

展示コーナーや特集コーナー

資料展示や読書啓発

視聴覚ライブラリーの運営

人権学習等に活用する教材の貸し出し



町民1人当たりの年間貸し出し数は11.1冊

人口減少対策特別委員会

研究 施策提言に向けた取り組み

これまでの、町からの現状の聞き取りや、他市町の人口減少問題への取り組みなどを分析し、本町に合った施策を提言できるよう、議論を行っています

予定 9月に提言書を町長に提出

地域活性化特別委員会

調査 滋賀竜王工業団地の進捗状況

- ・土地引き渡しに必要な工事は全て完了した
- ・今年度中には多目的広場なども完成する

問 企業誘致専門員はどこにいるのか

答 公社委託事業による常駐者が東京にいる

調査 就学前教育・保育・子育て支援のあり方検討の進捗状況は

竜王町子ども未来会議や幼保あり方検討庁内会議で検討中

問 親の養育力の低下を検討されているが、低下の要因は

答 昔は多世代で同居しており、自然と子育ての仕方など、家庭内で伝承することができた。また、祖父母が子育てを助け、親だけが負担することが少なかった。今は、核家族化が進む中、親だけで子育てしている事があり、難しくなっている



調査 (株)雪国まいたけ

- ・都市計画法第29条の開発許可が5月31日におりた
- ・企業誘致の状況は、物流倉庫、製造工場が進出を検討中

問 井戸を掘っているが企業の進出に関係あるのか

答 (株)雪国まいたけより工業団地内の専用水道工事の届出が出ている



開発工事に着手

議会広報特別委員会

読者アンケート
議会広報を読んでいただいている方の声を聞くためアンケート調査を実施しました。調査結果は16ページに掲載しています。



編集マニュアル
のキーワード

編集マニュアル
多くの方に、関心を持って読まれる広報紙となる様、平成29年3月に編集マニュアルを作成しました。

広報技術の向上



広報紙について情報交換

視察研修の受け入れ

6月29日に山形県金山町議会が視察研修に来町されました。

町政 ここを聞く!

6月定例会では10議員が
16問の一般質問を行いました。

№	質問者	質問事項
9	山田 義明	プログラミング教育の早急な取り組みを
	貴多 正幸	竜王町公共施設等総合管理計画の今後は
10	森山 敏夫	まちづくり施策の取り組み体制は
		水防対策は万全か
11	森島 芳男	I B Mグラウンド跡地の活用は
	古株 克彦	通学路の安全確保は
12	内山 英作	竜王町まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況と今後
		竜王町の人口ビジョンは
		町長就任1年を振り返って
13	小西 久次	竜王町のまちづくりは
		町道小口八重谷線バイパスは
		自ら考え自ら行うまちづくり事業の見直しを
14	松浦 博	中学生に観光大使を委嘱、その意義と効果は
	菱田 三男	コンパクトシティ化への取り組みは
15	若井 猛志	自然災害への備え・事前復興計画と受援力は
		国保の単位化は

そうだ!! 傍聴に行こう!

議会ではどんな政策が審議されているか、あるいは自分が選んだ議員がどのような活動をしているかなど、傍聴は議会の動きに触れることのできる身近な方法です。
議会事務局（☎58-3713）にお問い合わせ下さい。

次回の一般質問は9月中旬予定

一般質問って?

町の行政全般について
議員が町長をはじめとして
担当部局に疑問点を質したり、
見解などを尋ねたりするもので、
毎定例会で行われるよ



近江うし丸

問 プログラミング教育の 早急な取り組みを

答 論理的思考を身につける
学習活動の実施



山田 義明 議員



中学校のプログラム学習

問 中学校では技術・家庭で、コンピュータを利用した計測・制御の基本

問 人工知能やあらゆる物がインターネットにつながるIoTなどの先端的な情報技術が進み、子ども達の多くは現在出現していない職業に就くと予測される。

この時代を乗り切る子ども達の生きる力を育むために英語教育と同様にプログラミング教育の早急な取り組みが出来ないかを伺う。

的な仕組みや、簡単なプログラムについて学習している。

小学校においては、算数・理科・総合的な学習での児童がプログラミングを体験しながら、コンピュータに意図した処理を行わせる。

そのための必要な論理的思考力を身に付ける学習活動を、発達段階に応じて取り組んでいきたい。

また授業の中で町内外の団体や企業にプログラミング教育の機会を提供いただくことも必要と考えている。



貴多 正幸 議員



給食センター

問 本年度は、各施設の所管課において類型ごとに既存施設の利用状況や老朽化の状況といった現状を整理し、それぞれの施設の方向性について担

問 本年3月に竜王町公共施設等総合管理計画が策定されたが、今後この計画に基づき具体的にどのように実施されるのか伺う。

問 竜王町公共施設等総合管理計画の
今後は
個別計画として取りまとめていく

当課素案をまとめていきたい。

来年度は、その素案を全庁的に情報共有し、内容が総合管理計画の方針に即したものであるか、また優先的に取り組むべき対象施設はどれかを見極められるよう検討体制を構築する。

ともに住民ニーズについても把握し、施設の



竜王小学校

類型ごとに「個別施設計画」として取りまとめていきたい。

個別施設計画の作成には、厳しい判断をしなければならぬ施設もあるかもしれない。

安心で安全な住民サービスの提供を前提とし、将来に渡って持続可能な施設となるよう取り組んでいきたい。



森山 敏夫 議員

問 「わがまち竜王町」まちづくりフォーラムで掲げられた5つの基本政策と各4つのチャレンジを、第五次竜王町総合計画との整合性を図った上で各取り組みに対する進捗管理をどの様に進めるのか、その進捗管理を含めたスケジュールを公にできないのか。

問 まちづくり施策の取り組み体制は

答 プロジェクトチームで取り組む

答 今年度の9つの重点施策について、プロジェクトチームを立ち上げ組織横断的な取組を開始した。各課題に優先順位をつけ期限を切って検討し、積極的に実現に向けてチャレンジする姿勢を全うする。

進捗管理は、主監課長



フォーラムは「活力」と「安心」のキーワードを掲げ4つのチャレンジが示された

問 水防対策は万全か

答 水防資機材の備蓄、ため池の整備は計画的に行う

①災害に備えた水防資機材として、大型コンテナバックの整備、備蓄に関しては5月に滋賀県の協力を受け、須恵地先の町有地に初期対応分として20袋を備蓄した。

②ため池重要水防箇所については、堤体老朽、余水吐に問題があるが、耐震性や安全性について水防管理も含めて伺う。



須恵町有地に備蓄された大型コンテナバック

問 滋賀県指定の重要水防区域7河川の整備は重要であり、特に日野川・祖父川の防水対策を周到に計画し、緊急時に迅速に対応できる体制作りが急務である。

①災害に備えた水防資機材として、大型コンテナバックの整備、備蓄に関しては5月に滋賀県の協力を受け、須恵地先の町有地に初期対応分として20袋を備蓄した。

②ため池重要水防箇所については、堤体老朽、余水吐に問題があるが、耐震性や安全性について水防管理も含めて伺う。

②ため池に関しては今後、県で防災重点ため池と判定された町内20か所の点検結果を踏まえ、優先度が高い、ため池を中心に町と関係機関が再度現地確認を行い「ため池ハザードマップ」を作成する。

また、ため池整備計画を策定し防災計画、水防計画に反映する取り組みを行う。



森島 芳男 議員

問 IBMグラウンド跡地の活用は

答 住宅地整備が実現できるよう努める

問 IBMグラウンド跡地の活用について、昨年の第3回定例会において一般質問した。

答 回答では、「土地所有者および滋賀県とも協議を重ね、IBM本社への定期的な要望などあらゆる手法を模索し少しでも早くに住宅整備が実現できるよう努力する」との答弁があった。

現在までの進捗状況はどのようになっているのか伺う。

答 平成29年2月に土地所有者の本社を訪問し、早く住宅開発が実現するよう再度要望を行った。その後、土地所有者が来庁し、開発事業を進める考えを示されたことから、4月に本社を訪問

し、その後6月にも状況を確認したが、現時点においても、開発事業者で検討中との報告を受けている。町としても協議を重ね、住宅地整備が実現できるよう努める。



鏡地先のIBMグラウンド跡地

問 通学時の安全確保等は

答 歩道拡幅工事は、30年度に完了



古株 克彦 議員

問 ①児童が交通事故に遭い、重傷を負ったが、交通安全対策は。

②県道綾戸東川線、通学路の拡幅工事進捗状況は。

③県道春日竜王線、薬師地先の通学路の歩道拡幅工事はいつになるか。

答 ①交通安全指導は年間を通じて行い、PTAでは、「見守り隊」や「校区内パトロール」を自主的に実施。

また、スクールガードや

各校区の少年補導員の方などによる地域を挙げて安全確保に役割を果たしていただいている。

②綾戸から橋本までの通学路の拡幅工事は、平成26年度以降に詳細設計、用地測量、用地買収、平成29年3月から工事に着手し、平成30年度に完成予定である。

③薬師地先の歩道は80cmと狭小な状況である。滋賀県東近江土木事務所から「県道綾戸東川線の工事完了後、検討する。」との回答を得ており、引き続き早期の取組を要望する。



歩道拡幅工事中の橋本付近

問 まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況と今後は

答 オール竜王で取り組む



内山 英作 議員

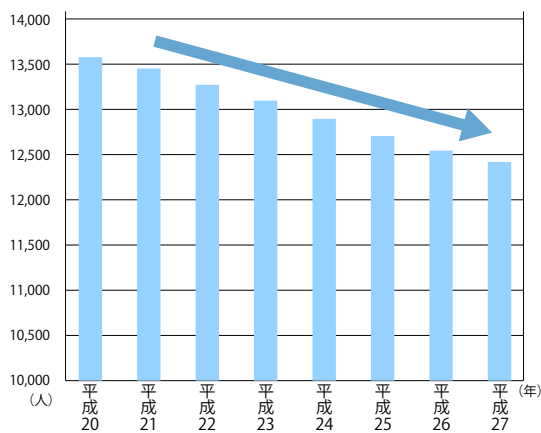


昨年の「竜王町まるごと(スキヤキ)プロジェクト」

問 オール竜王の取り組みの一つとして、地方創生交付金を活用して実施しているスキヤキプロジェクトがある。

答 プロジェクト推進協議会は、農業生産者、農業生産法人、農協、農業委員会、町議会、商工会、観光協会、大学などが構成メンバーとなり、オール竜王の代表的な取り組みを行っている。

問 総合戦略の実行にあたっては、町民や地域、企業、関係機関、団体、行政など、まちに関係する全ての主体が結集し、連携を強化しながら、「オール竜王」で課題の克服に取り組む、と言っているが、今日までの取り組みは。



最近の竜王町の人口推移

答 代表的な取り組みは、①滋賀竜王工業団地をはじめとする工業団地な

問 子や孫の世代も安心して暮らしていける地域を将来に引き継いでいくために、平成29年度はどのような施策を実施するのか。

どへの企業誘致の早期実現を目指すとともに、住宅開発の支援を行う。

②昨年度から取り組んでいるスキヤキプロジェクトと2つの道の駅を推進拠点と位置づけ、新規就農、農業者の定住、Uターン促進等をめざす。

問 竜王町人口ビジョンは

答 独自の施策で、定住人口の増加につなげる

問 町長就任1年を振り返って

答 次世代が誇れる竜王町をめざす



定例記者会見を行う町長

問 昨年6月に竜王町長に就任され、1年が経過したが、現在の心境を伺う。

また、今後3年間の町長のまちづくりに対する意気込みを伺う。

答 新たな領域、初の首長の職務を担わせていただき、新鮮かつ緊張感の日々を過ごし「あつという間に1年が過ぎた」という思いです。

これからの3年間は、今までの民間企業や公務経験で得た知見や築いた人脈をさらに活用し、県・国への財源確保・諸要望活動、町の魅力発信を進めていく。

また、民間で広く採用されているコスト削減の手法やプロジェクトチームの手法を駆使し、スピード感を持って課題解決に努めていく。



小西 久次 議員

問 竜王町のまちづくりは

答 新たなまちづくりに取り組む



ひらけつつある竜王IC周辺

問 法人町民税の減少と義務的経費の増加に伴い厳しい行政運営が予想されるが将来のまちづくりの考えは。

答 ①新たな財源の開拓や研究を進める。

②課題解決に向け、優先順位の設定と期限を切ってチャレンジする。

③竜王工業団地への優良企業の誘致による雇用と定住、名神竜王ICへのアクセス改善、大型商業施設や希望ヶ丘文化公園エリアの活用等に取り組む。

問 自ら考え自ら行うまちづくり事業の見直しを

答 包括的な交付金に見直す

問 自ら考え自ら行うまちづくり事業の枠組み拡大の声があるが、柔軟な活用方法の検討は必要ではないか。

答 地域の課題が多様化している現状で、地域の実情に応じた活動ができるような制度への見直し要望もあり、自治会連絡協議会や庁内認定委員会で協議・検討する。

平成30年度からは、自治会対象の他の補助金と統合し包括的な交付金に見直す。

自ら考え自ら行うまちづくり事業ってな～に？

協働によるまちづくり意識の一層の向上に資するため、自治会（区）に対して助成を行う事業だよ。



緊急防災用ストーブ(七里)

問 町道小口八重谷線バイパスは

答 インター周辺全体の中で検討する

問 小口市街化区域周辺の事業開発促進に伴い、周辺部（松が丘・竜王IC・国道477号）の混雑が予想されるが、バイパスが必要ではないか。

答 大型商業施設・滋賀工業団地の開発に伴い、

竜王IC周辺機能強化及び小口工業地域の利活用の検討に合わせ小口八重谷線バイパスの検討を行ってきた。

整備にあたっては多くの課題があり、今後の土地利用の動向と交通量、竜王IC周辺全体の中で検討する。

問 中学生に観光大使を委嘱、 その意義と効果は

答 大変意義深い取組、一層の充実を図る



松浦 博 議員

竜王町は自慢できるものが
たくさんあって、イイネ！



旅行者に名刺を渡して町のPR

問 観光大使を委嘱
することで、当町の魅
力や特産品のPRのみ
ならず、生徒自身への
積極性の涵養と、歴史
文化を知ること、郷土
愛への醸成につながる
事業として実施され
たが、その成果と今後の
期待について伺う。

答 生徒は初めて自分の
名前の入った名刺を受け
取り気分が高揚し、竜王
町の代表として中学生観
光大使に委嘱されたこと

を
実
感
し
た。

この名刺を修学旅行で
沖縄に持参し、民泊先の
家族や観光地で出会った
方々に手渡した。今回の
観光大使の取組は、少し
でも相手に思いが伝わる
よう工夫を凝らした一枚
の名刺を通して郷土愛を
育み、また、町のPRに
もつながるなど大変意義
深いものであった。

この取組の一層の充実
を図ると共に、小学生に
も地域学習や地域の方々
を招いて、子ども達の郷
土愛の醸成に努めたい。

問 コンパクトシティ化への 取り組みは

答 33年度末を期限に一定の
方向性を出していく

問 中長期的な構想
として役場周辺に学校
や、病院、商業施設、
住宅地などを集約化
(コンパクトシティ化
するとあるが、実現の
ためにどのような取
組みをされるのか伺う。

答 将来的に皆さんの賛
同を得て、役場周辺をコ
ンパクトシティ化。

スケジュール的には本
年から過去のまちづくり
の論議なども踏まえ幅広
く検討を始め、平成33年
度末を期限に町として一
定の方向性を出していく

計画である。コンパクト
シティ化を進めるにあた
っては農地転用など大変
厳しい乗り越える課題も
多くあり、解決の方策を
見出さねばならない。



住民にとって身近な施設が集まる庁舎周辺

菱田 三男 議員



若井 猛志 議員

問 自然災害への備え・

事前復興計画と受援力は

答 地域防災計画の

見直しを進める

問 ①大規模自然災害に襲われたとき、人命を守り被害を最小にし、復旧・復興までのようにしていくか事前に考えておくことが必要ではないか。

特に72時間以内の対応に人員、資源、資金を集中的に投入する、地域強靱化計画を策定してはどうか伺う。

整えていなければ支援も減殺される。

自らできること、支援を受けることを明確にしておく防災計画が必要だが、考えを伺う。

入れながら進めていきたい。②受援力を高めることは、大変重要な事項であると考えている。地域防災計画の見直しにおいて、より実情に即した計画になるよう進めていきたい。

答

①国土強靱化地域計画では、災害時の最悪の事態を想定しながら、事前に取り組んでおくべき施策を考え、長期的な視点を持つ中で、優先順位や実現の時期を位置づけるものである。

本町の現状も踏まえた最悪の事態を想定する等、国土強靱化地域計画の取り組みも視野



ボランティア受付

問 国保の単位化は

答 パブリックコメントを

募集している

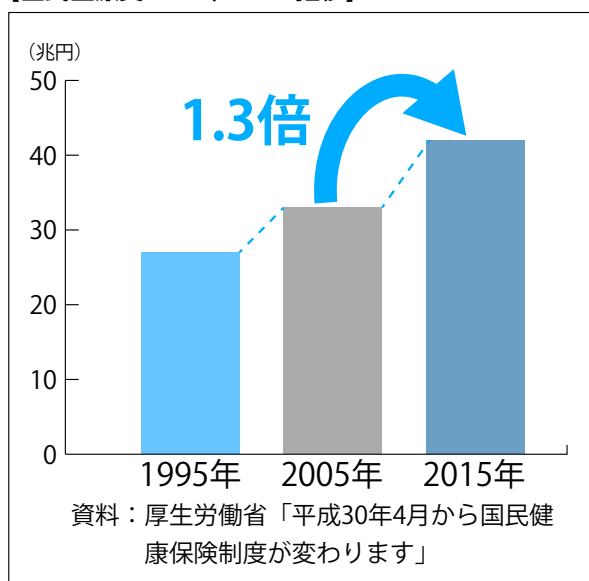
問 国民健康保険の都道府県単位の現状は、どこまで進んでいるのか。

県の運営方針案では、納付金の算定を各市町の医療費水準は反映させない意向だが、竜王町の負担はどうなるか。

答 単位化に向けての進捗は、現在、県で意見の聴き取りを実施されており本町も意見を提出していく予定である。

納付金については、今年度見込値より仮算定された納付金の方が約一割程度上回る。

【国民医療費 10年ごとの推移】



議会だより アンケート集計結果



回答者の内訳

(人 数)	中学3年生	20代～50代	60代以上	合計
男 性	58人	23人	41人	122人
女 性	46人	27人	16人	89人
合 計	104人	50人	57人	211人

議会だよりを読んだことがありますか？

	毎回	ときどき	読んでいない	知らなかった
中学3年生	0%	16%	22%	62%
20代～50代	23%	62%	12%	4%
60代以上	63%	35%	2%	0%

これからも
ご愛読を宜しく
お願いいたします。



● 追跡コーナーはとても大事なことで、ページを増やしてでも知らせてほしい。
● タイトルや小見出しが写真の使い方で内容がわかるし、読みやすい。

60代より

● 今のような問題が竜王にあり、その進捗状況がわかると良い。

50代より

● 一番伝えたいのが何かがわかりにくい

40代より

● 一般質問の各頭に、要約された「問い」「答え」があり読みやすい。

30代より

● 所々にかわいいキャラクターの画像が入って良い。

中学生より

その他ご意見

内容はわかりやすいか？

	よくわかる	わかりやすい	わかりにくい
中学3年生	9%	84%	7%
20代～50代	11%	79%	11%
60代以上	19%	73%	8%

写真や図表のわかりやすさ

	わかりにくい	ふつう	わかりやすい
中学3年生	5%	58%	37%
20代～50代	2%	62%	36%
60代以上	9%	69%	22%

どの記事に興味がありますか（複数回答）

	表紙	定例会報告	委員会活動	一般質問	追跡コーナー	いきいき人生
中学3年生	38人	17人	15人	40人	6人	15人
20代～50代	10人	15人	16人	38人	11人	5人
60代以上	4人	30人	24人	48人	15人	12人
合計	52人	62人	55人	126人	32人	32人

考 察

多くの方々に手に取っていただき、「伝える・伝わる」身近な議会を発信していきたいと考えています。

ここが知りたい!!

(アンケート結果上位)

1. 防 災
2. 介 護
3. 住宅開発
4. 交 通

調査内容等の報告

- ・竜王インター周辺整備
- ・魅力ある農業の創生推進
- ・橋梁整備工事
- ・子育てと教育
- ・滋賀竜王工業団地 他

主な意見やアンケート

- ・竜王町は畜産が盛んであり、耕畜連携に取り組んでほしい。
- ・議会だよりだけの資料では内容が不足している。
- ・専門的過ぎて理解しにくい。
- ・人口を増やすには住宅開発が重要であると思います。
- ・住宅地の空き地をなくそうと努力されていますが、議員も何か工夫や案を出し、活性化するような意見を出して取り組んでほしい。
- ・40代以下の若者の参加者が少ない。若者が参加しやすくする努力をしたか。
- ・健康長寿に向けた取り組みをしてほしい。
- ・工業団地へ早く企業が来ていただきたい。

7月8日、町公民館にて議会報告会を開催しました。町民など54名が参加され、議会活動の報告を行いました。町民などに参加いただいたみなさまから、多くの意見をいただきました。

報告会で意見が続々!!



あの一般質問はその後どうなった??



議員の質問に、町がその後どのように対応したかを追跡・検証してみました。

全国学力・学習状況調査は

(平成26年第3回定例会 一般質問より)

問 文部科学省が公表した2014年度の全国学力・学習状況調査の結果、竜王町の児童生徒の学力はどのような状態であるのか。

答 竜王町の子ども達は、小学校および中学校の調査結果のほとんどにおいて、滋賀県平均を上回っている。小

中学校へのICT機器を使った、よりわかりやすい授業への授業改善を進める。

◎その後

きめ細かな支援員の配置やICT機器の活用により、わかって楽

しい授業に努めており、一人ひとりの児童生徒の基礎学力の定着がみられる。引き続き、「説明したり表現したりする活用力」を高めるための授業づくりと指導の充実を図っていく。



わかって楽しい授業風景

私の仕事は人に携わること



26年前に北海道を後にした時は、まさか滋賀県人になろうとは想像すらできませんでした。勿論仕事上の関係が大きいのですが、今は竜王町民の一員です。

私は大手企業に人材を派遣する会社を設立し、関西を中心に展開してきました。現在は事実上の会社運営等すべてを妻に引き継ぎ、工場で働いている人達に関わる事を多少手伝って

いる様な状況です。会社の方は更に保育園を建設し、介護の方面に携わるなど子育てと老後の一助となるべく奮闘しております。

私は今までに何千人という、全国から募集した人達との出会いがありました。記憶からすぐに消え去るような人、今でも強く印象に残っている人など、その数だけそれぞれの人間像があります。そこには必ず新しい発見があり、それが仕事への原動力となります。

さくら団地では自治会の役員を経験することができ、仕事とは違う日々の生活での出会いと付き合いが生まれました。

しかし、自治会運営の難しさを痛感、改めてコミュニケーションの大切さを学ぶ事となりました。

これから、それを如何に実行していくのが私の大きな課題です。

表紙

竜王清流会

魚つかみ大会

平成21年から「子ども達にきれいな川を」をキャッチフレーズに、一級河川善光寺川の河川美化活動が続けておられる竜王清流会が、今年も魚つかみ大会を開催されました。今回で6回目を数え、皆さんにきれいにしていたいた川で、魚つかみの他自然観察会やお楽しみコーナー、流しそうめんなど、毎年多くの家族連れでにぎわっています。毎年、朝早くから高島市まで魚を取りに行き、子どもたちが待つ川へ放流すると、大



きな歓声とともにずぶ濡れになりながら魚つかみを楽しんでいました。こうした継続した取り組みが、持続可能なボランティア活動の礎となっています。

編集後記

広報委員会では、町民の方々にどれくらい議会広報を読んでもらっているか今回初めて、アンケート調査を行いました。さまざまなお意見をいただき、今後の議会だよりに活かしたいと考えています。

今後もしも愛読を賜り皆様方の感想やご意見もお寄せください。

議会広報特別委員会

委員長	森山 敏夫
副委員長	森島 芳男
委員	内山 英作
委員	松浦 博
委員	山田 義明
委員	岡山 富男